

海外研修の様子—ことし2月フィリピンで(アジア日本相互交流センター提供)



は午後二時からと六時からの二回で要予約。申し込み、問い合わせは同センター—電052(4833)6800、または問い合わせ専用電話—090(3933)8788—。

名古屋の団体 海外研修や事務局体験

来月2日に説明会

マネジメント研修などを受ける。有給コースでは国内NGOでのインターンシップや約二週間の海外研修、無給コースではNGO事務局一日体験、国内フィールドワークなどがある。

第二期Nたま生でもある同センターの門田一美さん(三馬)は「研修を通して多くの団体とつながりができた。主婦や教師、定年退職者も新たなスタートを切っている」と話している。

研修は来年三月までで、受講料は有給コース十九万五千円(渡航費除く)、無給コース八万五千円。説明会

NGOの卵 大きく育て

NGOで働きたい人は増えているが「どうしたらいいかわからない」という人が多い。NGOにも人材を求めているが、単独でじっくり育てる余裕がないのが実情。カレッジは四年前に双方の問題を解決しようとした。

全国でも例のない取り組みとして注目され「Nたま(NGOの卵)」の通称で知られるようになった。これまでの修了生四十六人のうち二十八人が各地のNGOでスタッフとして活躍しており、本年度は福岡県でも同様の研修が始まる。有給スタッフと無給スタッフ・ボランティアコースがあり、共通で南北問題や環境などの課題別講座、

名古屋NGOセンター(名古屋市中村区)は九月下旬から、非政府組織(NGO)で働くスタッフを養成する「コミュニティカレッジ」を開く。愛知、岐阜、三重のNGOが協力して理論から実践まで幅広く研修する。九月二日に同市中区栄の伏見ライブプラザで説明会がある。(境田未緒)